

社会資本整備総合交付金 事後評価シート  
滝尾中部地区

平成30年3月

大分県大分市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	滝尾中部地区			面積	140ha
交付期間	平成24年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	540.0	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路（羽田4号線、羽田8号線、片島5号線、羽田片島2号線、加納滝尾中学校線、羽田片島1号線、片島津守1号線、片島2号線、片島1号線）								
		提案事業	地域創造支援事業（下水道（雨水施設工事）事業）、事業活用調査（事後評価書作成委託）、まちづくり活動推進事業（まちづくりワークショップの開催）								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	なし								
		提案事業	なし								
	交付期間の変更	当初	平成24年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
変更		あり									

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	単位		基準年度		モニタリング	評価値						
指標1	地域防災力・防犯力向上についての満足度	%	52%	H23	56%	H29	-	90%	○	あり なし	平成29年度の満足度は90%であり、目標値52%を上回っている。避難通路となる主要な道路（通学路）における歩行者空間の確保や、緊急車両の進入路確保等道路整備が進んだことが達成要因になったと考えられる。	-
指標2	自動車交通についての満足度	%	43%	H23	55%	H29	-	76%	○	あり なし	平成29年度の満足度は76%であり、目標値55%を上回っている。全ての道路事業が完了していないものの、地域住民が利用する主要な道路の整備を進めたことが達成要因になったと考えられる。また、道路整備が完了することにより、更なる改善が見込まれる。	-
指標3	地区内排水に対する満足度	%	42%	H23	60%	H29	-	62%	○	あり なし	平成29年度の満足度は62%であり、目標値60%を上回っている。地区内排水の流末の断面を大きくしたことにより、排水不良が改善したことが達成要因になったと考えられる。しかし、排水不良箇所は残っているため、引き続き改善が必要である。	-
指標4	防災防犯活動への参加者人数	人	1,303人	H23	2,000人	H29	-	1,374人	△	あり なし	滝尾中部地区住環境整備促進協議会による現地視察の実施をきっかけとして、防災・防犯に関する活動（イベント）が開催されたことで、参加人数の増加がみられるものの、開催が単年度であったことや、地域が限定的であったことが要因となり、目標値に達しなかった。	-

3) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	単位		基準年度		モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	-	-
その他の数値指標2	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	-	-

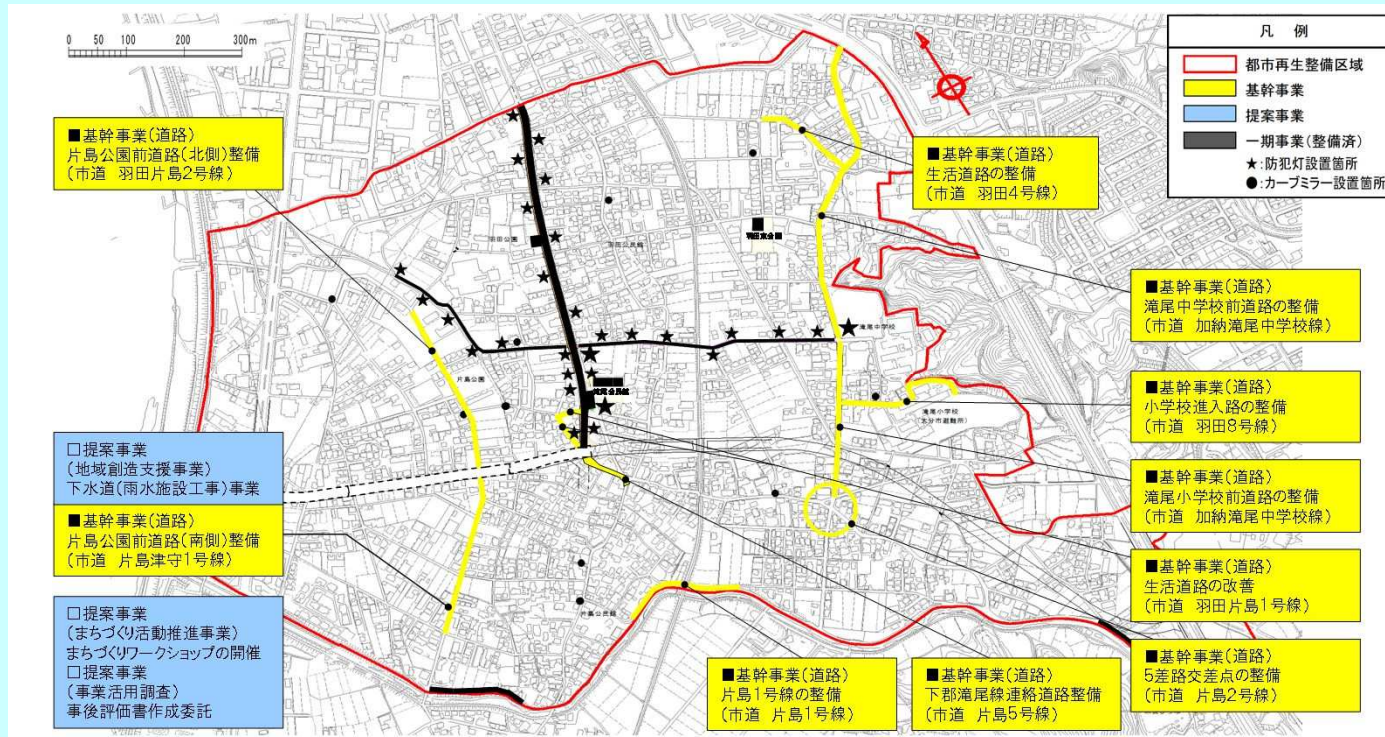
4) 定性的な効果発現状況  
滝尾中部地区住環境整備促進協議会による現地視察を通じ、防災意識の醸成や、地域防災力の向上につながった。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-
	住民参加プロセス	滝尾中部地区住環境整備促進協議会による現地視察	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	大規模災害等に備えるための地域コミュニティの醸成や、防災・防犯意識の向上および地域交流活動を継続的に実施することにより、指標の更なる改善に寄与するための事業を展開する。
持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	

## 様式2-2 地区の概要

### 滝尾中部地区(大分県大分市) 社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標：防災、防犯のまちづくりによる、安全、安心で快適な住環境の形成 目標1 災害、犯罪に強い市街地の形成(防災、防犯性の向上) 目標2 円滑な交通体系の形成と交通安全性、歩行者の快適性の向上(交通体系の整備) 目標3 良好な住環境の整備・誘導(住環境の向上)	地域防災力・防犯力向上についての満足度	単位：％	52%	H23	56%	H29	90%	H29
	自動車交通についての満足度	単位：％	43%	H23	55%	H29	76%	H29
	地区内排水に対する満足度	単位：％	42%	H23	60%	H29	62%	H29
	防災防犯活動への参加者人数	単位：人	1,303人	H23	2,000人	H29	1,374人	H29



都市再生整備計画事業における  
**【基幹事業】**  
 道路、公園、下水道、地域交流センターなど  
 まちの基幹となる施設等の整備に関する事業  
**【提案事業】**  
 社会実験、まちづくり活動など市町村の提案  
 に基づく事業

**まちの課題の変化**

本計画は、事業が完了に至っていないため、道路整備や排水不良の改善などの生活環境の整備を引き続き行う必要がある。  
 また、大規模災害等に備えたコミュニティの醸成や、歩行者、通行車両に対する交通安全対策が求められる。  
 このような中、課題として以下が挙げられる。

- 道路整備による避難通路の確保(地区内において、既存の道路を活用した避難行動や交通の円滑化を促す道路整備)
- 地域外からの流入車両等に対する交通安全対策(通学路等への安全対策)
- 排水不良の解消(排水不良改善を主体とする雨水の排水対策)
- 地区コミュニティ活動の実施(災害時における自助・共助を見据えた各種コミュニティ活動の継続や新たな活動おこし)

**今後のまちづくり方策(改善策を含む)**

**安全、安心な住環境整備 + 防災・防犯対策 + 地域コミュニティの強化**

幅員の狭い道路が多く存在する当地区においては、自動車や歩行者の安全性・快適性の向上を図り、災害時における避難通路の確保や円滑な道路交通体系の形成を目指し、2期計画における未完成の道路整備事業の推進とともに、既存の道路を活用したその他の道路整備についても検討を行う。  
 また、降雨時には度々冠水が発生するため、流末の改善等による排水不良地域の解消を目指す。  
 阪神・淡路大震災における救助の多くが自助・共助であったことを踏まえ、防災・防犯意識の醸成や向上を目指し、地域コミュニティを活用した取組みを進める。